



国民の生活が第一

People's Life First

2012年10月25日 発行

国民の生活が第一 東京第12区総支部

〒114-0022

東京都北区王子本町1-18-8 王子ビル102

TEL 03-5963-5623

FAX 03-3906-7135

<http://www.aoki-ai.com>

未来はいつも子どもたちの中にある。



衆議院議員 東京都第12区総支部長

青木 愛

あおき あい

いま、原点に立ちかえる時。

国民の生活が第一の青木愛衆議員(東京12区)は、北区、足立区の後援会をはじめ地元有権者に民主党を離党した経緯やこれから目指す政治の姿を、ミニ集会や街頭演説を通して理解を求めている。「2009年夏、日本の歴史上初めて民意による政権交代が実現しました。これは真の民主主義確立への大きな第一歩でした。しかしその後の政治は次第に国民の期待から大きくかけ離れたため、私は「国民の生活が第一」という信念に基づき、再び立ち上がる決意をいたしました。私、青木愛の政治の原点は、「いのち」を守り、「いのち」を生かす社会を築くことです。子どもたちの笑顔が溢れ、働く人々と高齢者が安心して暮らせる活力ある地域を日本中に広げていきます。」と訴えるとともに、「未来は子どもたちの中にある。」私の初心を忘れることなく、子育て、教育、社会保障などを通じて「国民の生活が第一」の政治を実現します。」と力強く政治活動を展開している。

子どもたちを育む環境改革

待機児童の解消の第一歩として開設した保育施設も、地域のお母様のご協力を頂いて2年余りが経ちました。また、区内を歩きますと保



育ママの看板が大分目立つようになりました。足立区では、特に低年齢の待機児童の課題が残されています。今後重点とする待機児童の課題解決に向け、保育ママや小規模保育所の増設とともに、育児休業制度の拡充と推進に取り組めます。また、いま日本の教育現場では子どもが自らの命を絶つという悲惨な現状があります。家庭、学校、地域が一体となって子どもの心の声に気づき、命がけで子どもを守る覚悟が必要です。家族の絆を原点に、子育て、教育分野における制度改革に取り組みます。

育ママの看板が大分目立つようになりました。足立区では、特に低年齢の待機児童の課題が残されています。今後重点とする待機児童の課題解決に向け、保育ママや小規模保育所の増設とともに、育児休業制度の拡充と推進に取り組めます。また、いま日本の教育現場では子どもが自らの命を絶つという悲惨な現状があります。家庭、学校、地域が一体となって子どもの心の声に気づき、命がけで子どもを守る覚悟が必要です。家族の絆を原点に、子育て、教育分野における制度改革に取り組みます。

夢に向かいチャレンジできる社会

いまの日本は、長引くデフレ不況、高まる失業率、国民の中にあつたデザインを真っ白なキャンパスに描きます。比率が増す高齢者は元気に社会参画し、若い世代は夢と希望を追求し、いのちと共存するエネルギー政策に転換し、誰もが安心して安全に守られ、チャレンジできる社会の実現を目指します。

